**ハイスクール＆カレッジ スポーツサイエンスアワード　発表申込**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏　名（フリガナ） | ※発表代表者のお名前をご記入ください。 | 生年月日 | 西暦　 　　　　年　 　月　 　日 |
| 年　齢 | 　　　　　　　歳 |
| 会員番号 | 　　　　　　　　　　　　　　　　※JATI会員のみ |
| 所属 | ※学校名以外にも学科やコースも記載 |
| 連絡先 | 住所　〒TEL： 　　　　　　　 E-mail： |
| 発表タイトル |  |
| 発表種別 | □実践報告　□研究方法　　　　　　　　※該当する項目の□を、■にしてください。 |
| 表彰希望（対象者のみ） | 表彰の対象になることを□希望します　　　　　□希望しません※該当する項目の□を、■にしてください。 |
| 共著者 | ※共著者がいる場合には、氏名とフリガナをご記入ください。例）麻布 太郎（アザブ タロウ） |

※抄録は2ページ目に記述してください。

**タイトル（太字、中央よせ、MSゴシック11ポイント）**

脂肪太郎1、筋肉有子2、筋骨隆生1, 2（MSゴシック10ポイント）

1日本トレーニング指導大学　筋力増強学部、2国立スポーツ科学大学　筋パワー開発学部

*「改行」*

**【現場へのアイデア】**（MSゴシック10.5ポイント）

実践報告から合理的に導き出すことのできるトレーニング指導への提言、および、その提言が適応できると考えられる環境や条件なども含めて記載する。

以下は記載例です（形式は問いませんが、トレーニング指導の目的、対象、内容、方法、期間等を明確にし、分かりやすい構成で記述してください。必ず客観的なデータや指標を含めてください。）

**背景：**どのような動機（例えば、科学的または経験的背景や仮説）に基づいて介入（トレーニング方法、指導方法など）を行ったかを２、３行で書く。また、報告する事例に関するテーマで科学的に未解明な部分があればそれも述べる。

**トレーニング指導の目的：**事例報告の目的を簡潔かつ明確に記述する。

**対象者または対象チーム：**事例報告の対象者または対象チームの特徴（身長、体重、年齢、競技歴、競技レベル、既往歴など）を記述する。ただし、事例報告の内容や結論の妥当性を読者が正しく判断するために必要最小限の特徴を記述する。

**方法・期間：**選手やチームに対する介入内容（トレーニング手段あるいは運動方法、スケジュール、期間、使用器具、トレーニングボリュームなど）の詳細を記述する。

**測定環境：**事例報告からの知見がトレーニング指導へどのように適応することができるのかを読者が判断するための一助として、測定環境を記述する（例：実験室、トレーニングルーム、人工芝グラウンド、体育館など）

**測定手順及び分析方法：**結果の解釈に必要不可欠な測定の手順、条件、測定機器、分析方法などの詳細を記述する。

**結果：**主要な結果を記載する。ただし、ただ単に、「上がった」だとか「下がった」などというだけ記載するのではなく、測定した数値も示し、主要な結果を記載する。

**考察：**結果から導き出される考察や結論を述べる。ただし、これらの考察や結論は、先に述べた目的や仮説と関連したものでなければならない。